



みんなのチカラで、なんとなかなるなる！なばりです

まちの事業者×地域の見守り

地域の高齢者や障害者、子どもなどへの見守り支援は、地域住民、地域づくり組織、民生・児童委員、福祉サービス提供者、まちの保健室などが、さまざまな場面で行っています。



1月31日、協定を結んでいる20社のうち17社・団体が顔を合わせ、意見交換した

高齢化が進み、見守りが必要な人が増えていく中、宅配、金融、ガス、新聞など戸別訪問している事業者にも見守り支援をお願いしています。この取組は、平成25年に始まり、現在20社・団体と協定を結んでいます。1月31日、これらの事業者による初会合で共有された取組を一部ご紹介します。

☎ 地域包括支援センター ☎ 63-7833



名張郵便局
酒井 康平 さん

郵便ネットワークを生かして見守りを強化

市内のいたるところに配達する郵便ネットワークを生かして、令和6年度から見守りを強化。困りごとや異変を報告する用紙を社員に配ったり強化日を設定したりして取り組み、「郵便物が溜まっている」「敷地内にゴミが散乱している」など、29件を市に報告しました。

郵便受けに配達物がたまってくると、配達も困難になっていきますので、市と連携して要支援者に対応できるのは、郵便局としてもメリットがあると考えています。



株式会社 ギューとら
榎原 克博 さん

移動販売を通じて、困ったことが無いか
気にかけています

ご高齢の買い物難民を助けたいという会社の方針で、「とくし丸」という移動販売車を運用。利用者がどんどん増えています。

お客さんと接する中で、困っていることがあるな、いつもと様子が違うなということも気にかけていますし、必要であれば、地域包括支援センターやまちの保健室につなぐこともあります。これからも、買い物支援が必要な人に寄り添っていきたいと思います。

地域の皆さんの見守りの目になれるように

同じ商品を何十個も注文したりする組合員さんを、市と一緒に見守っていくこととなったことや、届けた商品が数日後もそのままになっており、警察や市に相談。緊急入院されていたとのことでホッとしたこともあります。

伊賀地域の組合員さんは年配の人も多く、食料品などの配送メンバーは、全員が市の認知症サポーター養成講座を毎年受講しています。これからも、地域の皆さんの見守りの目になれるよう取り組んでいきます。



生活協同組合コープみえ
岡島 徹 さん

「地域の見守り活動に関する協定」に基づく通報の流れ

事業者

発見



地域住民
の異変

- ・ 配達物が溜まっている
- ・ 怒鳴り声や悲鳴がする
- ・ ゴミが散乱している
- ・ 不自然な服装 など

通報

警察・消防（緊急時）
市役所（地域包括支援センター など）

みんなのチカラで、なんとなかなるなる！なばりです

ロゴマット×モップ寄贈

ロゴ入りマットをリース契約すると、指定の小学校に掃除用モップを寄贈できる取組が広がっています。掃除用具レンタル販売「ダスキンフミックス」が企画した取組で、「名張を盛り上げながら、学校もきれいにしていだければ」と担当の川北さん。詳しくは、市HPかダスキンフミックス（☎ 68-5111）へ



梅が丘小学校で、2月12日、初めての寄贈式が行われた